北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
令和6年度 公開水産科学実習

海棲哺乳類実習　（水圏における環境と人間活動の共生に関する実習）
実施要項

1. 実施場所
   オンライン（Zoom）

2. 実施期間
   令和 6 年 8 月 19 日（月）～20 日（火）　2 日間　（8 月 26-27 日を予備日とする。）

3. 対象
   北海道大学を除く国公私立大学に在籍する学生および大学院生。募集締切後に定員に空きがある場合は，北海道大学の学生の受講も可能である。受講を希望する北海道大学の学生は，8/2（金）までの間に担当教員に個別に問い合わせること。

4. 実習内容
   北海道沿岸に生息する海棲哺乳類（主に鯨類）に関する調査研究手法の基礎を学び，人間活動との共存を考える実習を行う。担当教員および招へい講師による海棲哺乳類の調査研究に関する講義を行うほか，オンラインでのワークショップ，参加者間交流会を行う予定である。
   ※１　本年度は，Zoom によるオンラインでの講義および実習となる。了承の上，応募すること。
   ※２　本年度は，本実習受講による北海道大学水産学部の授業科目「特別実習１」の単位授与は行わない。

   スケジュール（暫定）

8/19	09:00	概要説明，講義2コマ（担当教員：黒田実加　北海道大学北方生物圏フィールド科学センター特任助教）
	13:30	グループワーク1「漂着した鯨類の種判別」，交流会
8/20	09:00	招へい教員3名による講義 神保　美渚（道総研中央水産研究所研究職員，専門分野：鰭脚類，ヒグマ） 小林　　駿（東京農業大学生物産業学部助教，専門分野：鯨類の行動生態学） 主森　　亘（帯広畜産大学獣医学研究部門特任研究員，専門分野：鰭脚類の化石）
	13:30	ワークショップ2「調査計画を立ててみよう」，発表，講評

5. 定員

本実習の定員を 12 名とする。書類選考により採否を決定し，採否については 8 月 9 日（金）までにメールにて個別に通知する。

6. 提出書類その他

（ア）理由書（実習の受講を希望する理由を明記したもの）（必須）

（イ）担当教員・招へい教員への事前質問（もしあれば。採否結果には影響しない）

（(ア)（イ）併せて A4 用紙 1 枚以内，手書き以外であれば様式自由。名前，大学名，学部，学年，連絡先電話番号，メールアドレスを明記すること。）

※書類の提出が遅れる場合は申し出ること。

7. 申込期限：令和 6 年 8 月 2 日（金）　必着

8. 申込先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター　学術協力担当

メールアドレス：kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp

必ず所属大学の教務関係担当事務を通して申し込むこと。書類はメール添付にて提出すること。

9. 参加費

無料。ただし，配布資料の事前印刷をお願いする場合がある。

10. 問い合わせ先

【申込および実習内容に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター　学術協力担当

メールアドレス：kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp

電話番号：011-706-3908

担当教員：黒田実加（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）

メールアドレス：mika.kuroda@fish.hokudai.ac.jp

11. 参考

教育拠点 HP：http://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/index.html

12. その他

詳細な実習内容に関しては，採択通知後に受講決定者にメールにて通知する。

なお，今後実習内容の変更等があった場合は，実習 HP（食料基地拠点 HP）および応募者へのメールにて周知する。当日，担当教員のやむを得ない都合により実施が困難となった場合は，予備日（8/26-27）に振り替える可能性があるので，留意すること。また，予備日に参加できない受講生に対しては，後日録画配信を行う。